

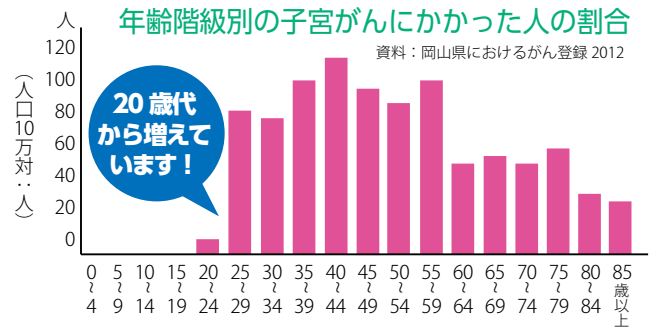
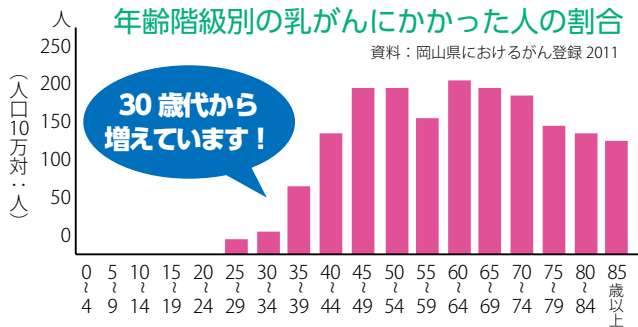


早期発見のためにも定期的に検診を！

近年、乳がん・子宮がんは若い女性に急増しています。

問 健康づくり課 ☎(21) 0267

近年の傾向として、20～40歳代で乳がん・子宮がんを発症するケースが増えています。特に乳がんは女性のがんの中で一番患者数が多く、約16人に1人がかかると言われています。



<女性のがんの原因は？>

■乳がん・子宮体がんの発生は、女性ホルモン(エストロゲン)が深く関わっています。

下記に該当する人は特に注意が必要です。

- 初潮の時期が早い(11歳以下)
- 閉経時期が遅い(54歳以降)
- 出産経験のない人
- 初産年齢が30歳以降
- 肥満(特に閉経後に太った人)
- 喫煙している人
- 近い血縁者に乳がんにかかった人がいる人(乳がん発症に関係)

■子宮頸がんは「ヒトパピローマウイルス」の感染によって感染すると言われています。

感染しても多くは本人の免疫機能により排除されますが、がんに移行する場合があります。

<高梁市のがん検診>

■乳がん検診

30歳以上：視触診のみ

40歳以上：視触診+マンモグラフィ

■子宮頸がん検診

20歳以上：内診、細胞診

※「平成28年度成人検診ガイドブック」参照

1年に1回は検診を受けて健康を確認しましょう。



乳がんや子宮頸がんは早期に発見すれば、女性にとって大切な乳房や子宮を温存でき、術後の負担も少なくてすみます。

早期発見のためにも、定期的な検診を受けるようにしましょう。

尾島クリニック 八代先生

おはなし

人との出会いを大切に



田中 さい子 さん
(川上町地頭)

人と関わることを本当に大切にしたいと思います。乳がんの治療でしんどかった時、周りの方の助けでとても救われました。その経験から「自分も同じ思いをしている人を助けたい」と思うようになり、自分から進んで出会いを見つけ、可能な限り色々な人と関わるようにしています。人と関わることで元気をもらい、逆に相手に元気を与えることが出来ると思っています。

主治医から「人は生き方次第で今後どうにでもなる」と言われ、その言葉で目覚めてから、人との関わりを大切にしながら、食生活や運動など、健康にも気をつけるようになり、昨年には、6時間マラソンに出場することができました。

今後も「ありのままの自分を受け入れ、自然の物を食べ、人との出会いを大切に、人に感謝して生活していくこと」を続けていければと思っています。